



大槻ゆり子 議員

## 地域包括ケアシステム

# システム構築に向けた対策は？

### 医療と介護の連携を高める

**問** 在宅医療や訪問介護制度の周知方法は。  
**答** 健康福祉部長

講演会やシンポジウムの開催とともに、広報たかしまや防災行政無線での広報、また、健康推進員や保健師が直接地域に出向く等、様々な機会を通じて説明を尽くし、市民とともに考え、市民が助け合う仕組みを築いていきます。

**答**

**問** 高島市の高齢化の現状は。

**答** 健康福祉部長

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療と介護の需要が急増すると見込まれることから、地域包括ケアシステムを作っていくことになる。

「地域包括ケアシステム」とは、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援等の必要なサービスを一体的に受けられる仕組みのことである。

**問** このシステムをどう考えるか。

**答** 健康福祉部長

高齢者の皆様が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「介護」「医療」「予防」の専門サービスと「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に連携しながら在宅の生活を支える仕組みであると考えています。

**問** システム構築に係る課題と対策は。

**答** 健康福祉部長

在宅で生活するためには、医療部門と介護部門との連携を一層高めることが重要と考えています。その対応策の一つとして、相談や情報提供等を行う支援センター的なものの必要性を、高島市医師会等の関係機関と検討しています。



さらには、健康寿命の増進や元気な高齢者が介護を必要とする高齢者を支えることができるよう、元気なうちからの介護予防に努めていただくことが重要と考えています。



### その他の質問

#### ●交通網の整備